

## 1. 策定の趣旨

社会経済情勢の変化や様々な課題などへの対応を考慮したうえで、本市の下水道事業を将来に渡り、安定的に運営していくために、今後の下水道事業が進むべき方向性を示す計画として、刈谷市下水道ビジョンを策定するものです。

本ビジョンの計画期間は、令和5年度から令和14年度までの10年間とします。

## 2. 現状と課題

1) 下水道接続人口と有収水量	◆ 下水道接続人口の増加や社会経済情勢などを考慮しつつ、有収水量の推移を注視する必要がある。
2) 汚水管整備	◆ 汚水処理人口普及率は、国の目標を達成している。 ◆ 未整備区域について、効率的な整備手法や整備のあり方の検討が必要である。
3) 維持管理	◆ 今後の老朽化の進行に対応し、計画的な改築や修繕を行っていく必要がある。
4) 地震対策	◆ 重要な汚水管きよの耐震化は概ね完了している。 ◆ 雨水管きよの耐震化を進めていく必要がある。
5) 浸水対策	◆ 浸水対策として、雨水貯留施設の整備などを計画的に進めていく必要がある。
6) 水質保全	◆ 下水道への接続の促進や施設の適正な管理に努めていく必要がある。
7) 経営状況	◆ 下水道への接続の促進による収入増加や不明水対策による支出抑制などの経営改善に取り組み、経費回収率を改善させる必要がある。
8) その他の課題	◆ 事業の多様化（広域化共同化、官民連携など）を活用し、業務の効率化に取り組む必要がある。 ◆ デジタル技術を活用し、業務の効率化や市民サービスの向上に取り組む必要がある。 ◆ 下水道事業への市民の理解を得る積極的な情報発信に取り組む必要がある。

## 3. 基本理念

『まちづくりを支える下水道 ～水の帰りみちをいつまでも～』

## 4. 基本方針・基本施策

<b>1. 効率的な施設管理の推進</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 予防保全型維持管理の推進           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計画的な改築・修繕により、下水道施設の良好な維持管理の推進や財政負担の平準化を図ります。</li> </ul> </li> </ul>	<b>2. 災害に強い・強靱な下水道の構築</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 地震対策の推進           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 重要な汚水管きよに引き続き、重要な雨水管きよの耐震化を推進します。</li> </ul> </li> <li>● 浸水対策の推進           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 雨水ポンプ場の耐水化や雨水貯留施設の整備などを推進します。</li> </ul> </li> </ul>	<b>3. 汚水処理の推進</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 汚水処理の最適化           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 整備効果が見込まれる区域を優先して整備します。</li> <li>・ 市街化区域は、土地の利用状況などの進展に合わせて、整備手法などを検討します。</li> </ul> </li> </ul>
<b>4. 快適な生活環境と水環境の創出</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 下水道接続の促進           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 下水道の役割や補助制度などを周知し、下水道への接続を促進します。</li> </ul> </li> <li>● 合流改善施設の適正管理           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 継続的に放流水の水質検査をするとともに、施設を適正に管理します。</li> </ul> </li> <li>● 合併処理浄化槽の有効利用           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 下水道整備区域外での合併処理浄化槽の設置促進などを図ります。</li> </ul> </li> </ul>	<b>5. 積極的な情報発信の推進</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 情報発信及びイメージアップ           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ホームページやイベントなどを活用し、下水道への理解促進を図ります。</li> <li>・ デザインマンホール蓋を利用したPRや収益方法について調査研究します。</li> </ul> </li> </ul>	<b>6. 持続的な事業運営の推進</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 下水道使用料の適正化           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 経営改善に取り組み、継続的に最適な下水道使用料の設定を検証します。</li> </ul> </li> <li>● 業務の効率化           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広域化共同化やDXを推進し、官民連携について調査研究します。</li> </ul> </li> <li>● 人材育成と技術継承           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外部研修などを活用し、職員の専門知識や技術力などの向上を図ります。</li> </ul> </li> </ul>

## 5. 管理指標・目標

管理指標	現状（令和3年度）	目標（令和14年度）
汚水処理人口普及率	97.6%	99%
下水道接続率	91.9%	94%
経費回収率	81.8%	90%